

## 専門課程美容科の基本情報について

### 【基本情報】

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地
北海道美容専門学校	昭和25年7月14日	布川 耕吉	〒060-0063 札幌市中央区南3条西10丁目1004番地3 (電話) 011-223-3100
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地
学校法人布川学園	平成14年4月1日	布川 耕吉	〒060-0063 札幌市中央区南3条西10丁目1004番地3 (電話) 011-223-3100
目的	本校は、学校教育法及び美容師法に基づく専修学校として、美容師並びに美容関連業種に必要な知識と美容技術を習得させ、美容業界の向上と発展に寄与せしむるとともに、地域社会に貢献し得る人材の養成することを目的とする。		

### 【コースの概要】

#### (インターナショナルカットコース)

分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
衛生関係	専門課程	美容科 (2年次より、 インターナショナルカットコース)	2年	2,222単位時間 (又は単位)	平成15年文部科学省告示第14号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		655単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1,567単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
400人内数		1年次コース共通180人 2年次コース 43人	13人	15人	28人	

#### (メイクコース)

分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
衛生関係	専門課程	美容科 (2年次より、 ヘアメイクコース)	2年	2,222単位時間 (又は単位)	平成15年文部科学省告示第14号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		655単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1,567単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
400人内数		1年次コース共通180人 2年次コース 84人	13人	15人	28人	

## (ブライダルコース)

分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
衛生関係	専門課程	美容科 (2年次より、 ブライダルコース)	2年	2,222単位時間 (又は単位)	平成15年文部科学 省告示第14号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	655単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1,567単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
400人内数	1年次コース共通180人 2年次コース 34人	13人	15人	28人		

## 【学期制度等】

学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■前期：4月1日～9月30日</li> <li>■後期：10月1日～3月31日</li> </ul>	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績表 (有・無)</li> <li>■成績評価の基準・方法について各学期の課目A～D及びN評価として課目毎に評価を行う 成績不合格者については、2回まで再試験を行う</li> </ul>
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学年始め：4月1日～4月6日</li> <li>■夏季：7月22日～8月18日</li> <li>■冬季：12月22日～1月5日</li> <li>■学年末：3月19日～3月31日</li> </ul>	卒業・進級条件	各学期の課目A～C及びN評価として課目認定され、進級試験、卒業試験に合格すること。総授業時間数が9割以上の出席である者で学費が完納され、判定会議を経て学校長が適当と認めた者

<p>生徒指導</p>	<p>■クラス担任制 (有・無)          ■長期欠席者への指導等の対応          担任から本人へ注意指導を行う。          保護者へ連絡して状況の確認・報告          を行い、一定時数を超えた場合は、          三者(担任・学生・保護者)面談を          行う。          病気、けが、手術等による長期に          わたる欠席については、別途審議          する</p>	<p>課外活動</p>	<p>■課外活動の種類          (教養ゼミ)          色彩技能パーソナルカラー検定試験対策          介護職員初任者研修          ガイドヘルパー、経営学          (テクニカルゼミ)          着付、エステティック、          ネイリスト検定対策            (校外コンテスト対策ゼミ)          全国理容美容学生技術大会          北海道美容技術選手権          全国学生技術コンテスト          フジシンウィディングコンテスト          Kawaiiコンテスト          ■サークル活動 (有・無)</p>
<p>就職等の状況</p>	<p>■主な就職先、業界等          美容室、美容関連業界          ■就職率 97 %          ■卒業者に占める就職者の割合          94.5%          ■その他(任意)          (平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点          の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>美容師          メイクアップ検定2・3級          ネイリスト技能検定2・3級          ジェルネイル検定初級          色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1.2          TONI&amp;GUY認定ディプロマ          着付検定          グラダブルビューティプランナー          介護職員初任者研修修了者          ガイドヘルパー</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 13名 ■中退率 4.2%          平成28年5月1日在学者 311名(平成28年4月入学者を含む)          平成29年3月31日在学者名 298名(平成29年3月卒業生を含む)          ■中途退学の主な理由          経済的事由、進路変更、身体的事由          ■中退防止のための取組          担任が学生への声かけや相談により、学生の状態や状況への変化に対して、早めの          対応ができるよう、日ごろより、注意喚起を行っている</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://hbs.ac.jp">http://hbs.ac.jp</a></p>		

## 【その他の事項】

### 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

学校の教職員と外部団体及び事業を営んでいる等業界の第一線で活躍している兼任教員が、授業内容の改善を図るために教育課程編成を行う。

今回、新設した教育課程編成委員会においては、外部からの意見を、授業に反映させることを目的としている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月12日現在

名 前	所 属
布川 耕吉	学校法人布川学園理事、北海道美容専門学校 校長
廣地 紀明	北海道美容専門学校 副校長
松田 祐喜	北海道美容専門学校 事務局長
吉田 規子	北海道美容専門学校 教頭
長谷部 公江	札幌美容共同組合 東支部支部長
トニータナカ	一般社団法人日本メイクアップ連盟 代表理事
渡部 勝哉	有限会社リンク 代表
保谷 公彦	有限会社コンベックス・アクター 会長

(開催日時)

第1回 平成28年 9月 12日 13:00～14:30

第2回 平成29年 2月 7日 13:00～14:30

### 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

美容師や美容関連業において、外部団体や関連企業が主催する各種検定の取得、総合的な美容技術を習得するために、関連する団体や企業で活躍している方や認定講習を修了した専任教員により実習や演習等を行う。

学生については、卒業年次にヘアショー（卒業制作）を行うために、企業に準備段階から学生への指導を通して、関与してもらっている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
カット (アドヴァンス) (インターナショナルカットコース)	トニー&ガイ ワンレングス、グラデー ション・レイヤーカット技術を修得する	株式会社トニーアンドガイジャパン
基礎メイク (コース共通)	基礎メイクを修得する。メイクアップ検 定3級の合格を目指し、知識を修得する	一般社団法人日本メイクアップ連盟
メイクアップ 検定対策 (2級) (ヘアメイクコース)	メイクアップ検定2級の合格を目指し、 知識を修得する	一般社団法人日本メイクアップ連盟
フィニッシュ(ステージヘア&ファッション) (コース共通)	ヘアショー ステージヘア及びメイクを 修得する	有限会社リンク

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員については美容技術を高水準に保つために、関連企業及び団体が定める技術基準を習得するため、定期的に関連企業や団体が主催する講習及び認定試験を受けている。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月12日現在

名 前	所 属
池上 喜重子	池上学院高等学校 校長
杉田 直也	札幌プリンスホテル 総支配人
桶谷 治	桶谷法律事務所所長（弁護士）、元北海道大学法科大学院教官
渡部 勝哉	有限会社リンク 代表
保谷 公彦	有限会社コンベックス・アクター会長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://hbs.ac.jp>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://hbs.ac.jp>

(別紙様式 2)

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 平成 28 年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			関係法規・制度	国家試験の出題ポイントである法規制度、美容師資格、美容師の行政処分、開設者に対する行政処分、罰則について完全理解をさせる	2	35		○			○			○		
○			衛生管理	衛生管理を通して美容師として広い見識を身につけさせ、且つ全員が国家試験に合格する等に推進する	1・2	101		○			○				○	
○			美容保健	人体の構造及び機能について学習する。皮膚と皮膚付属器官の構造及び生理機能について学習する	1・2	134		○			○				○	
○			美容の物理・化学	美容師として必要な物理・化学の知識を学習する	1・2	101		○			○				○	
○			美容文化論Ⅰ	各時代におけるファッション文化の特色を学ぶ。知識と美的感覚を身につける。美容造形に必要な基礎的専門的な知識・技術を修得する	1	48		○			○				○	
○			美容文化論Ⅱ	美的センス、感性を養う。イメージ力を高める	1	42		○			○				○	
○			美容運営管理	美容室経営に必要な経営戦略・マーケティング・労務管理等を修得する	1	60		○			○				○	
○			美容技術理論	美容師として必要な知識の修得、美容師国家試験(筆記試験)合格を目指す	1・2	134		○			○			○		
○			美容実習	美容師として必要な技術(カット、ワインディング、オリジナル・オールウェーブ)について実習で学び、美容師国家試験(実技試験)合格を目指す	1・2	880					○	○		○		
合計				9 科目		1, 535	単位時間(		単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	40 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

(別紙様式2)

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		ヘアスタイリング (ヘアケア)	トリートメント剤等の知識と使用方法の修得	1 ・ 2	27				○	○		○		
	○		ヘアスタイリング (パーマ)	パーマメント技術の修得	1 ・ 2	21				○	○		○		
	○		ヘアスタイリング (カラーリング)	カラーリング技術の修得	1 ・ 2	33				○	○		○		
	○		ヘアスタイリング (ヘアアレンジ)	ヘアアレンジ技術の修得	2	30				○	○		○		
	○		ヘアスタイリング (エクステンション)	エクステンション技術の修得	2	18				○	○		○		
	○		ヘアスタイリング (まとめ髪)	ヘアセットの基本テクニックを修得する	1	15				○	○		○		
	○		トータルビューティー (ネイル)	ネイルの知識と基礎的技術を修得する	1	24				○	○		○		
	○		トータルビューティー (着付)	着物の歴史と一般常識、着物に関する知識と着付技術を修得する	1	18				○	○			○	
	○		トータルビューティー (エステティック)	マッサージ・フェイシャルの基礎技術を修得する	1	18				○	○		○		
合計					9 科目		204			単位時間(		単位)			

## 卒業要件及び履修方法

## 授業期間等

	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	40週

## (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

(別紙様式 2)

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 平成 28 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ブライダル (アップスタイル& メイク)	メイクとセットアップ技術を修得する	2	30			○	○		○			
	○		ブライダル (ブライダル エステ)	花嫁用デコルテ、フェイシャルマッサージ技術を修得する	2	9			○	○		○			
	○		ブライダル (ブライダル 研修)	ブライダルサロンでの実習見学により衣装合わせやヘアメイク技術を修得する	2	9		○			○	○			
	○		ブライダル (ブライダル プランナー 対策)	ブライダルプランナー検定の合格を目指し、知識を修得する	2	51		○			○		○		
	○		ブライダル (フラワーアレンジ メント)	フラワーアレンジメント技術を修得する	2	21			○	○			○		
	○		ブライダル (テーブルマナー)	ホテルでの演習によりテーブルマナーを修得する	2	3		○			○	○			
	○		カット (ベーシック) (基礎)	トニー&ガイ ワンレングス、グラデーション・レイヤー カット技術を修得する	1	75			○	○		○			
	○		カット (アドヴァンス) (応用)	トニー&ガイ ワンレングス、グラデーション・レイヤー カット技術を修得する	2	87			○	○		○		○	
	○		メイク (基礎メイク)	基礎メイクを修得する メイクアップ検定 3 級の合格を目指し、知識 を修得する	1	30			○	○		○		○	
合計					9 科目		3 1 5			単位時間(		単位)			

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	4 0 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の 3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。



(別紙様式 2)

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 平成 28 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		メイク (メイクアップ検定対策) (2級)	メイクアップ検定 2 級の合格を目指し、知識を修得する	2	24				○	○		○		○
	○		メイク (特殊メイク)	特殊メイクを修得する	2	21				○	○		○		
	○		メイク (ブライダルメイク)	ブライダルメイクを修得する	2	15				○	○		○		
	○		メイク (ステージメイク)	ステージメイクを修得する	2	24				○	○		○		
	○		フィニッシュ (ステージヘア&ファッション)	ヘアショー ステージヘア及びメイクを修得する	2	66			○	○	○	○	○		○
	○		フィニッシュ (プレ・サロン実習)	模擬サロンでの実習体験を通して実践を学び修得する	2	21				○	○		○		
	○		国家試験対策	美容師国家試験 (実技試験) 合格を目指し、技術を修得する	2	129				○	○		○		
	○		接客マナー	美容師として必要な礼儀・挨拶・動作を修得する	1・2	33			○	○	○		○		
	○		エアビクス	体力の増進、柔軟性の強化	1・2	30				○	○			○	
合計					9 科目		3 6 3			単位時間 (		単位)			

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	4 0 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の 3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。